

江上けん

被災者
ゼロを
目指し
ます!!

鎌倉市
「防災まちづくり」構想
地域・福祉・教育・行政の
連携づくり



防災士の経験を生かします!
防災は「顔の見える関係づくり」から
(^^)

防災士
無所属
52歳



プロフィール

1969年2月7日生まれ

長谷幼稚園卒園 横浜国立大学附属鎌倉小・中学校卒業 山手学院高校卒業
法政大学経済学部中退 読書好きが高じて古本屋を大船・追浜で起業。東京
海上火災保険の保険代理店業。現在は「一般社団法人江上空手道道友会」で
空手道の普及啓発活動を行う。

遊天空手道宮本塾五段允許 スペイン、イタリア、ポルトガルなどで指導
親英体道、呉氏太極拳、土佐英信流居合などを稽古
座右の銘「日々是稽古」 読書好きな、一男一女の父。

防災士

城廻自治会副会長兼防災防犯部長
城廻自主防災隊隊長
関小ブロック防災協議会運営委員長
玉縄地区防災会議事務局長
鎌倉養護学校運営協議会委員
福祉避難所運営 部会長
鎌倉防災だより企画編集委員
関谷小学校地区スポーツ振興会常任理事

江上けんはこう考えます。

「地域・福祉・教育・行政の連携づくり」

これが私が考える 「防災まちづくり」 構想です。



大切な命や暮らしを守ることを一番に考えて、進んでいきたい。10年間の自治会活動で、地域のコミュニティの大切さを学びました。相手の立場を思いやり、話し、あらゆる人と徹底的に仲良くする。顔の見える関係づくりが、防災力の向上につながり、安全・安心なまちづくりになると考えています。

毎年のように被害をもたらす台風や、必ずやってくる大地震。コロナ禍では、人と人との接触が制限され、絆が破壊されようとしています。

防災課題に取り組み、地域の防災力を向上させることは日常の問題にも必ず良い効果をもたらすことができると思います。

自分たちの町は、自分たちで守る。我が、まちづくりは、地域の防犯力をも高め、災害弱者を守るための絆づくりは、高齢者や障害者だけでなく、子どもたちや子育て世代の暮らしやすさにもつながります。

江上けんが取り組んできた活動報告

◎手探りではじめた自治会での防災活動長男の誕生がきっかけでした。育ててくれた地域への恩返しのため自治会の防災役員を引き受けることにしました。一年後、2011年の東日本大震災。有志を募って結成した城廻自主防災隊は、鎌倉市から表彰を受けるまでになり、今も防災活動を続けています。

◎地域を知る、学校を知る、お互いに知り合える。地元の避難所について検討をはじめた2012年。関谷小学校で宿泊避難訓練を実施できました。そこで感じた、地域連携や情報共有の大切さ。デジタルトランシーバーを導入して、自治会・町内会間での連携をはじめました。関谷小学校の校外指導委員長を経験し、地域のお祭りや運動会などにも積極的に参加、地域の方々と「顔の見える関係」づくりが、防災力の向上につながると気付きました。

◎自治会・町内会の連携や、学校との関係強化
2014年に、関谷小学校区内で合同通信訓練を実施。今では、災害時に互いに状況確認を行っています。2015年から、鎌倉市防災だよりの企画編集委員、市内各地区の方々と防災交流がはじまりました。2016年、関小ブロック防災協議会を設立。以後毎年、関小ブロック防災訓練を合同で実施。鎌倉養護学校の福祉避難所運営委員会に参画、避難所と福祉避難所の連携に取り組んでいます。

◎地域の方々へ防災の大切さを普及啓発する
2017年、「子どもと一緒にサバイバル」を開始。「防災士」資格を取得。2018年、鎌倉養護学校で防災授業を担当。

◎台風被害の甚大化、益々大切になる連携づくり2019年、NHKぼうさいマップをつくらうに参画。・台風15号で大きな被害を受けた、玉縄地区と第二小地区とで意見交換会を実施。・深沢・富士塚小学校ブロックの避難所マニュアルづくりに参画。・中高生防災サミットのファシリテーターを務める。・神奈川県大学と防災塾だるまが実施している「防災コーディネーター養成講座」の講師担当。

◎2020～2021年、コロナ禍での防災活動。・宿泊学習が中止になった関谷小5年生のために、火起こし体験やパン作りなどを行いました。・「玉縄地区防災会議」を設立。全自治町内会アンケートと防災マップ作り。玉縄地区の玉縄、植木、関谷小と玉縄中で、避難所マニュアル策定委員会を開催。「顔の見える関係」づくりを推進中！



私は誠実な
旦那さんを
全力で応援
しています。